教育かわら版

こんにちは教育委員会です ふたたび

No.１５０
令和３年１月１５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦

令和３年を迎えました。新春の慶び。
いつの時代も、大晦日からたった一日の違いなのに、新たな希望が胸に去来する日。
心配なことも多いのは事実ですが、元気に明るくやっていきたいものです。
「そういう年があったね」と振り返られるように。
そういう時代があったね、とならないことを願って。



コロナ禍で感じたこと。
いかに自由が素晴らしいか
自由に出勤・登校し、自由に会議や相手先に行けて、自由に食事ができる普通の生活。
空気を普通に吸える幸せ。人と向かい合って語り合える幸せ。友だちと手を繋いで遊べる幸せ。
願うは重苦しさからの解放。



すごい授業はできなかったかもしれませんが、私は授業が好きでした。
教室全員の顔を見て、４～５０分の中で、「つかみはこう」「ヒントは」「この問題に繋いで」色んなことを考えながら、でも瞬時に、教室の空気や子どもたちから得られる情報を受け止め、選択して授業のストーリーを創っていく。
時にはダジャレも入れながら　たとえオヤジギャグと言われようが･･･
そしてチャイムのほんの少し前に授業を終わる。
教科書やノートを片付けようとしたときにチャイムが鳴るように。



ただ、私はその後も学校にはいたけれど、教師生活の中でそれほど長く授業や学級経営をやってきたわけではありません。最後に担任した子を卒業させたのは平成１１・１９９９年のこと。私にとっての凝縮された最後。ノストラダムスの予言だったのかな。
その子たちが教師としての宝物だと思っていました。
でも、色んな場所で仕事をし、授業をし、子どもたちに出会う中でその後も宝物は増えました。関わった子はみんな教え子。触れ合った人はみんな宝物。勝手にそう思っています。
何度も実感してきた言葉。「幸せです」。

２０２１年　令和３年が始まりました
決して強靱なメンタルの持ち主ではないけれど、頑張り通そう。もっと辛いことだってあった。乗り越えてきた。私なんかよりもっときつい局面にいる方はもっといる。

私がいつも心に置いている言葉です。卒業生にも言ってきた言葉。
『山に登らなければ山の向こうは見えません。努力しなければ努力の向こうは見えません』
年の初めに。
今年もどうぞよろしくお願いいたします。

